



はいさい



編集企画・発行
 沖縄防衛局
 総務部報道室
 〒904-0295
 嘉手納町字嘉手納290番地9
 TEL (098) 921-8131
<http://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/>



「梅雨明けのころ」 住宅防音課 島袋 全矢

那覇防衛事務所の開所式を終えて

備間 朝光



那覇防衛事務所は、沖縄防衛局の嘉手納町への移転に伴い、本年四月一日付で那覇市泊の第一福祉ビル八階に新たに設置(定員十五名)されました。

当事務所は、県都那覇市に置かれる事務所として、南部地域に所在する自衛隊施設及び米軍施設・区域から派生する諸問題について、関係行政機関等との連絡・調整等を主として行うこととなります。

六月十二日、事務所の業務内容を前広に紹介すべく、管轄区域内の関係者をお招きし、開所式を行いました。その後の懇親会で地元の関係者の方々から、南部の歴史や特産などについて色々とお話を伺ったところ、総じて地元に対する思いが強いという印象を受けました。こうした関係者の方々の思いを真摯に受け止めながら、事務所としての業務を進めていく必要性を改めて認識したところです。

私自身、南城市知念の出身であり、南部の歴史等についてはある程度理解しているつもりでしたが、今回の開所式等を通して、自身の勉強不足を痛感したところです。そこで南部の歴史・史跡等を調べるべく、資料を紐解いてみたのですが、写真や解説を見てもイマイチ実感が湧かないのです。やはり、実際に現地に足を運び、肌で感じるのが大事である・・・、そうすることによって、関係者の方々の地元に対する思いを少しでも共有できるのではないかと考えました。

さっそく六月十五日から、歴史ロマンの旅ならぬ、南部史跡巡りの旅を始めました。その日は、出身地の南城市を中心に三カ所を廻ってみました。なるべく観光地化された所ではなく、未整備な所と考えていたので、ヤブ蚊に刺されるのは当たり前、知念城跡ではハブに遭遇したりと、結構スリルがありました。今後、一年程かけて管轄である南部をじっくり見て、肌で感じたいと思っています。

末筆ながら、業務多忙の折、那覇防衛事務所の開所式にご出席をいただいた関係者の方々に対し、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

(那覇防衛事務所長)

米軍人・軍属等による 事件・事故を防止するために

沖縄に駐留する米軍人・軍属は、我が国や周辺地域の平和と安全を守るため任務を遂行しています。また、彼らは、沖縄県内の学校でボランティアの英語講師をはじめ、海辺の清掃活動など年間を通してさまざまな地域活動に参加し、地域の一員として地元へ貢献したいと願っています。

他方、残念ながら一部の米軍人・軍属等による事件・事故は無くなっておらず、事件等が起こると沖縄県民の皆様にご迷惑をおかけすることになります。被害に遭われた被害者やそのご家族の苦しみ、悲しみを考えると、これら事件・事故は決して起きてはならないものであり、このような事態を未然に防止することが何よりも大切です。

米軍では、米軍人・軍属等による事件・事故を未然に防止するため様々な努力が継続的に行われています。

更に、本年2月に北谷町で起きた少女暴行被疑事件を契機に、在日米軍は、全国の米軍基地における性的犯罪防止を図るためタスクフォース（特別作業部会）を設置し、国内の米軍基地を巡回して、個別指導を行うとともに、今後の再発防止策について検討し、5月16日、在日米軍司令官が再発防止策を発表しました。

今回は、これまでの再発防止策の取り組みの一端を紹介させていただきます。

交通事故撲滅 —交通安全教育等—

米軍が関係する事件・事故の9割以上は、交通事故です。各基地において新規赴任者とその家族に対し交通安全教育を行っており、その内容は、日本における道路交通法、沖縄県の道路事情、任意自動車保険への加入、基地周辺の地理などです。

また、昨年8月には、キャンプ瑞慶覧所属の海兵隊員約200名に対し、9月の酒気帯び運転に関する道路交通法の改正について講習を行うなど、あらゆる機会を通じて交通事故防止のための注意喚起を行っています。

基地外での事件・事故防止を目指して

米軍は、飲酒と不適切な行為は、強く関連しているとの認識を示しており、これを防止するために様々な取り組みを行っています。

○ 地元飲食店業者等との協力強化

- ・地元飲食業者等が自発的な取組として注意喚起のためのステッカーを店舗入口に掲示しています。

① ステッカーの内容

- ① 当店は安全な環境を推進します。
- ② ・未成年者の立ち入りを禁ず。
- ③ ・米軍による生活巡回指導員を店内に受け入れる。
- ④ ・酩酊者に酒類を販売しない。



※沖縄県の通り会や社交組合を始め、県内の米軍人等が利用している約200の飲食店が参加しています。

○ 生活指導巡回の強化

- ・海兵隊では、ゲートを警備している部隊による米兵の生活指導巡回をキャンプ・ハンセン周辺の繁華街（金武町）で行っていましたが、これら地域のほか**名護市辺野古及びキャンプ・シュワブ周辺、北谷町アメリカンビレッジ及び北前と宜野湾市普天間の飲食店街まで拡大して実施**することになりました。
- ・また、嘉手納基地ゲート2通りでは、4軍（陸、海、空軍、海兵隊）の下士官が、土、日及び米軍の公休日の夜間に制服で巡回を実施しています。



○ 米兵の基地外への外出規制等 「リバティー・カード・プログラム」

- ・在日米海兵隊基地に所属する**全ての隊員**に識別カードを発行し、このカードにより外出時間を判別できるようになっています。
- ・海軍、空軍においても同様な措置を実施!!
- ・現在、沖縄の全ての軍人に対し、**午前0時～午前5時までの間外出禁止**。
- ・なお、海兵隊では、伍長以下の兵員は基地外で自由行動する場合は必ず仲間といることとなっています。

沖縄防衛局は、米軍に基地を提供する立場にあるものとして、米軍人等の事件・事故の再発防止については、今後とも適切に米軍に申し入れすることをはじめとし、周辺住民の方々の理解を得るため誠心誠意努力することが重要との認識の下、再発防止策がより包括的かつ実効的なものとなるよう、外務省沖縄事務所が主催するワーキング・チームを通じて、再発防止に取り組んでまいります。



H20.6.11に開催されたワーキング・チーム会合

ワーキング・チームとは？

米軍施設・区域外における米軍人・軍属等による公務外の事件・事故の防止を図るため平成12年10月設立されました。

国（外務省沖縄事務所・沖縄防衛局・内閣府沖縄総合事務局）、米側（在沖米軍・在沖米総領事）、地元自治体等（沖縄県・沖縄県警・名護市・沖縄市・宜野湾市・金武町・北谷町・商工会議所・商工会・社交飲食業組合）が参加し、協議を重ねています。今までに16回の会合が実施されました。

新人紹介
(5月1日採用)



びちびちの十九歳、出身は沖縄市。趣味は釣りとドライブ、声の大きさと大食いには誰にも負

けません！人見知りはない方なのでたくさんの人達と出会いたいと思っています。

五月採用で入局して日も浅いですが、やる気と元気は十二分にあるのでこれからどんどん仕事を覚えて、早く係長や先輩をサポートできるよう毎日向上心を持って励みたいと思います。

施設対策計画課
親富祖 良太



本島最南端の町、糸満市から毎日約一時間かけて車で通勤しています。五月に採用されてから1か月、通勤には慣れましたが、業務では手探り状態が続く毎日です。早く仕事を覚え、周りの人達とももっと仲良くなれたらなと思います。

趣味はサッカーです。沖縄防衛局にはサッカーをやっている人が多いと聞いてますので、好きなサッカーが出来ればと思います。

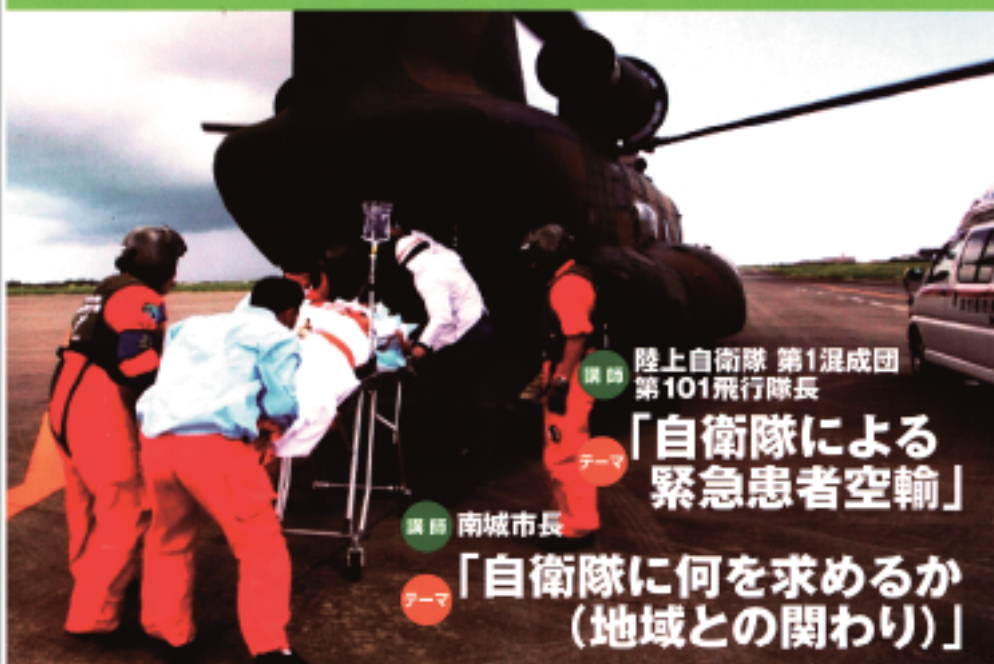
用地調整室
大城 孝之

沖縄で初めて開催される防衛セミナーです。
皆さんの参加お待ちしております！



防衛セミナー

～県民のための自衛隊～



講師
陸上自衛隊 第1混成団
第101飛行隊長

「自衛隊による
緊急患者空輸」

講師
南城市長

「自衛隊に何を求めるか
(地域との関わり)」

開催日 **平成20年7月14日月**
18:00開場・受付開始 / 18:30開演 / 20:30終了予定

会場 **パレット市民劇場**
(パレットくもじ9階) 那覇市久茂地1-1-1
TEL:098-869-4880

- 参加無料
- 先着順です。定員(390名)になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。
- 事前の申込みの必要はありません。



お問い合わせ先
防衛省 沖縄防衛局 企画部 地方調整課
TEL:098-921-8131(代)
〒904-0295 沖縄県中頭郡喜手賀町字富手幹290-9
<http://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/>



アクセス
●沖縄都市モノレール(ゆいレール)
県庁前駅(徒歩3分)
●バス
パレットくもじ前(徒歩3分)
県庁前バス停(徒歩3分)
沖縄銀行本店前(徒歩3分)
パレットくもじ中央エレベーターをご利用ください。(9階)
※各バス乗場にはお乗込みの案内、公営の交通機関をご利用ください。

お詫びと訂正：

第110号に誤りがありました。2面の普天間飛行場の「同年8月、宜野湾大学構内に米軍ヘリ墜落」の「同年8月」は「平成16年8月」の誤りでした。

また、4面の新人紹介で、右上に「総務課 具志堅 匠」が漏れておりました。

訂正してお詫び申し上げます。

高手納ハリー大会に 初参加！

去る六月二十二日に、沖縄防衛局は高手納町の一員として「第二十二回高手納ハリー大会」へ初めて参加しました。

参加チームが八十チームを超える本大会に、岡久管理部長率いる「防衛局タートルチーム」と局内から選抜された「沖縄防衛局MAX」の2チームが参加しました。競技の結果は両チームとも予選敗退。

「沖縄防衛局MAX」はグループ2位と健闘しましたが、「防衛局タートルチーム」は折り返しのターンで手間取ったこともありタイムとしては少し残念な結果に・・・。

今年に残念な結果で競技を終えましたが、来年以降は今年以上に練習を重ね、決勝進出、そして、いずれば優勝できるように頑張ります。

